

社会デザイン学会第16回年次大会

2021年7月11日（日）10時～18時

テーマ	経験の継承の困難と意義を考える
会場	オンライン開催（ZOOM使用）
主催	社会デザイン学会
共催	立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科、立教大学社会デザイン研究所
形式	ZOOM事前登録制の参加費無料の会員以外も参加できるオープンな大会です

会員発表	
	発表者と内容はココをクリック（dropboxリンク）
参加方法	会員発表は第一部、第二部共通とは、別の事前登録になります。
10:00～12:10	自由論題&実践報告発表
	こちらから事前登録してください。このセクションのみ参加できます。
	学会トライアル発表
	こちらから事前登録してください。このセクションのみ参加できます。
公開シンポジウム「経験の継承の困難と意義を考える」	
	総合司会：佐野敦子（社会デザイン学会理事）
13:00 開会	挨拶 北山晴一 社会デザイン学会会長
第1部	具体的経験から継承の困難と意義を考える
参加方法	こちらから事前登録してください。第1部と第2部と共通で参加できます。
13:10～13:55	基調講演① 経験を語り継ぐ困難とその超克～ハンセン病問題を例に（事前収録） 講師 武田徹 専修大学教授、メディア論・ジャーナリズム論
14:00～14:40	基調講演② ジェノサイドを防ぐことは可能か（事前収録） 講師 長有紀枝 立教大学教授、社会デザイン学・人間の安全保障論
14:50～15:30	質疑と討論 モデレータ 南里隆宏 跡見学園女子大学教員、公財）笹川保健財団常務理事 基調講演講師および参加者
第2部	社会デザイン（学）の経験の継承は可能か
参加方法	こちらから事前登録してください。第1部と第2部共通で参加できます。
15:40～16:40	パネル討論 危機の時代における社会デザイン（学）のこれからを考える ～社会デザイン（学）の現在／「ミッション」としての社会デザイン（学）／社会デザイン（学）の行方、をめぐって～ ファシリテータ 近藤誠一 地球システム・倫理学会会長、元文化庁長官 パネリスト： 長有紀枝 立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授、立教大学副総長 中村陽一 立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授、同社会デザイン研究所所長 北山晴一 社会デザイン学会会長、元・同研究科設置準備担当者
16:40～17:10	自由討論 パネリストおよび参加者
17:20～17:55	社会デザイン学会年次総会
	第1部、第2部と共通です。会員のみ参加できます。

連絡先 info@socialdesign-academy.org ※在宅勤務のためメールでお願いします
事務局：03-6822-9901 日本法制学会気付